

議 事 録 兼 報 告 書

会議等名称	平成28年度 伊那市子ども・子育て審議会 保育園運営体制部会
日 時	平成28年7月7日(木) 午後7:05～7:40
場 所	市役所 303会議室
欠 席 者	
議 題	保育園の運営体制について
議 事 内 容	
<p>1 部会長選出 倉澤邦弘会長を部会長に選任。</p> <p>2 保育園の運営体制について</p> <p><事務局> 議題(2)保育園の運営体制 関係資料により説明をする。</p> <p><部会長> 質疑及び病児保育に関する考えについて広く意見を求める</p> <p>○説明後の質問</p> <p><会長> 児童数・園児数の推移の中で平成27年の出生者数。…次回までに確認 多様化する保育ニーズと保育サービスで、現在、提供している保育サービスの詳細</p> <p><事務局> 延長保育は市内各園で実施、休日保育の内、土曜日は市内12園(公立8園、私立2園、認定子ども園2園) 日曜日の休日保育は、上の原保育園である。病後児保育は西箕輪診療所に併設の施設で要望に応じて実施。公立での一時預かりは希望に応じ竜南、上の原、高遠で実施</p> <p><委員> 空き待ち保育園児の「空き待ち」とは。</p> <p><事務局> 申込時に第1～3希望まで希望を聞く。保育園を選ばなければ、通うことは可能であるため、待機児童は「なし」である。 第1希望のみなど「この保育園に通わせたい」という保護者の思いから待っている状況である。</p> <p><委員> 特定の保育園への偏りがあるか。</p> <p><事務局> 保護者の通勤等の事情から町部に集中する傾向はある。</p> <p><委員> 小学校のように地域で通う保育園が決まっているのでは。</p> <p><事務局> 特にそうした指定はない。</p> <p><委員> 職員の正規・非正規構成が1:2の状況、正規率が低いのでは。</p> <p><事務局> 延長やパートなど短時間の非常勤職員数も含まれている。通常時間帯(8:00～5:00)勤務者で見ると4:6であり、他市と比べても少なくない。他市は3割くらい</p> <p>○感想等</p> <p><委員> 何より待機児童がなくて良かった。 延長や休日の保育などきめ細かな対応がされていて素晴らしい。 土日の勤務は、ローテーション等で対応されているか。 臨時の保育士が多いと聞こえてくる。また、過酷な仕事であり大変さが伝わってくる。 やりくりも大変、仕事も大変だががんばっていただきたい。</p>	

- <事務局> 土日の勤務について土曜日は園内の職員が交代。日曜日は全園から集めて対応
- <委員> 子供も減る。保育士が削減され、確保も困難。効率化が求められるのでは、保育サービスを充実するどころか、今のサービスを継続していけるかが不安である。何より保育士の大変さがうかがえる。
- 保育士の確保が困難な理由は何か。これが分からなければ対応もできない。子ども達を見守ってくれる保育士が大切である。
- <事務局> 保育士のなり手不足。今の賃金や処遇では、保育士が「子どもたちのために」という強い思いを持っていなければできない。
- 公立保育園の正規率は低い。
- <委員> 伊那保育園は正規3人、臨時6人。保育や子どもに尽くす態度などで臨機に割合を広げることもある。
- 保育士が良い顔（明るく・楽しく）をしていないと良い保育はできない。
- 給与も安いのは事実、処遇が改善され保育士が実感できるくらい良くなれば良いが。保育園は、預ける親も子供たちも心身から健康で楽しめる場所でなければならぬ。より質の高い保育の実現のため、より楽しめるような努力と研修に努める。
- <委員> その昔、自分の子供が第4保育園にお世話になった。温かみのある保育園だった。
- 保育園が存続できなくなると、さらにそこに住む人がいなくなる。保育園は地域のためにもなくてはならない。小規模保育園でも存続が必要だと考える。
- 小学校があつて、保育園があつて、学童クラブもあつて、休日でも安心して預けられ、そうした状況が住む人たちの安心につながる。保小が連携していければと思う。
- <部会長> 西箕輪保育園を育てる会の委員として8年目。保育園に協力している。
- 保育士は大変である。地域住民のお手伝いで軽減できればと考える。
- 子どもの生き生きとした活動は、地域の活力につながる。保育園はなくてはならない。
- 西箕輪地区は増加しているというが、学校周辺だけであり少し離れると高齢化、過疎化が著しい。新しい家を建てる場所のありなしではないか。他の部署ともタイアップして、若い世代の定住を促す必要がある。

<次回会議日程>

8月25日（木）6時30分～